



(下)

盟休兒童の書いたもの

父共ニ
戰ニ立ツ

尋二秋 喜市郎

(上)

四月一日、爭議團家族は大
舉して上京、請願せんとし
多数警官の阻止するところ
となつた

一、經濟的持久力の爲めに最大の努力を傾注し、
二、全國的に反動政府及會社の糾弾大運動を起し、
三、龜甲萬ボイコットの運動の徹底を計り、
四、其他の一切の手段と方法を盡くして徹底的闘争を期するものである。
現在、罷業中の労働者は、刑業其他を加へて、約一千三百名、家族總數は約六千名である。盟休
兒童は新入生と共に約六百五十名。今や夫婦相依り。父子相扶けて、刻々として深刻なる闘争を展
開しつつある。

即ち資本家のこの道理を滅せる時代錯誤の暴舉に對しては、労働組合は目前の利害を超へ労働組
合に殉ぜんとする壯烈なる闘争を以つて答へる。

労働組合の健全なる發達は、合理的産業秩序及進歩の基礎的條件である。されば労働組合は一方
に於いて常に産業に對する責任を解し協力の精神を以つて其建設的任務を果たしつゝ、一方に於い
ては頑迷にして進歩を阻む資本家と猛烈果敢の闘争を行はねばならぬ。

これ、我等に課せられたる國民的義務である。